なりたい自分へ

（みんなちがってみんないい）

宮澤　莉桜

もし私が日本に学校を作るなら、なりたい自分を見つけられる学校を作りたいです。そのためには学校を楽しい場所にしなければなりません。それを成しとげるには問題点が二つあります。

一つ目は、自分の好きな勉強の科目を選べないことです。選ぶことができれば誰でも夢中になるでしょう。しかし、それを実現するには、多くの先生が必要になります。授業はインターネットをもっと活用し、アドバイザーのような役割をする先生が不可欠です。

二つ目は、日本では先生が一方的に話をして、授業が終わってしまうことが多いことです。アメリカではおたがいに話すことで理解を深めています。よって、積極的に生徒が授業に参加できるようなしくみが必要になってきます。ずっと先生の話を聞くより、自分の

意見を言えたほうが、より理解が深まるような気がします。日本では授業中に先生に指された生徒しか話すことができませんでした。しかしアメリカでは積極的に発言することが求められました。そこで、私は自分の意見を言うことが生徒全員に効果的だと感じました。

最後に、この二つの点を解消できれば、生徒にとって学校が心おどる場所になるに違いありません。私が学校を作るなら、アメリカの学校のようにおたがいを理解しあいながら、生徒全員が楽しく、将来の自分探しができる場所を作りたいです。

20 × 20